

1～4号機は燃料の安定冷却を継続しています。発電所の最新状況やさまざまな取組みをお知らせします。

2018年10月1日 発行

■ 本号の内容

- 福島第二は福島第一廃炉の後方支援も行っています
- Jヴィレッジ再始動！
- 発電所構内の空間線量
- 燃料の保管と冷却状況
- 地域とともに～「麓山の火祭り」が8年ぶりに行われました～



サケの遡上に合わせ、やな場が設置された木戸川（楢葉町）

福島第二は福島第一廃炉の後方支援も行っています

当所では、福島第一原子力発電所で実施している防波堤の復旧・改造工事に使用する消波ブロック※等を製作しています（2018年3月から製作開始）。

製作したブロックは、海上運搬され船上からクレーンを使用して防波堤へ据え付けられます。この工事により福島第一港湾内の波が抑えられ、作業船舶がより安定的に入出港等を行えるようになります。

引き続き、福島第一廃炉作業の後方支援としての役割も担ってまいります。

< 福島第二原子力発電所構内の製作エリア >



※ 消波ブロックとは
防波堤に設置し波の力を減らすコンクリート製ブロックのことです。



消波ブロック製作の主な流れ



型枠の組立



コンクリート流し込み



クレーン船にて海上運搬



型枠はずし

32ト・25ト・16ト型の消波ブロックなど、約1,700個のブロックを製作予定

東京パワーテクノロジー株式会社

現場責任者の

伊藤

ともゆき
朋之さん



～ 福島第一廃炉作業の支援を
安全第一でしっかりと進めていく ～

本工事で使用する消波ブロックの型枠は、1枚あたり約400kgの重量物となります。重量物をクレーンで吊る際には、誤って吊り荷の下へ人が入らないよう、周囲に呼びかけるなど、作業員の安全を守るため、現場を厳しく監視しています。

福島第一廃炉作業に従事させていただくことに誇りをもって安全第一でしっかりと業務に取り組んでいきます。



Jヴィレッジ再始動!



福島第一原子力発電所事故後、当社が復旧・廃炉作業の拠点として使用させていただいた、サッカーのナショナルトレーニングセンター「Jヴィレッジ」。

7月28日、Jヴィレッジは一部の営業を再開しました。9月8日にドーム型の全天候型練習場もオープンし、天候に左右されずサッカー以外の幅広い用途にも活用できるようになりました。レストランやフィットネスクラブ等もあり、地域の皆さまも気軽にご利用できる施設となっています。

レストラン
アルパインローズ

美しい天然芝を眺めながら、食事ができます



洋食・和食を中心としたレストラン。ランチには、セットやアラカルトメニューが提供されています。ディナーは、洋食コース、和食コースからお選びいただき、ゆったりとした時間をお過ごしいただけます。



ローストビーフ丼 (ランチ)



海鮮トマトスパゲティ (ランチ)

営業時間 / (ランチ) 11:30~14:00
(ディナー) 17:30~21:00 ※ディナーは完全予約制
休業日 / 年中無休
予約・お問い合わせ / 0240-27-7311

フィットネスクラブ

最新の設備でトレーニングができます



運動に慣れていない方でも、スタッフの方が親切丁寧にマシンの使い方やトレーニング方法を教えてくれるので安心です。他にも室内プールや浴場、サウナなどが備わっています。



室内プール



大浴場

営業時間 / 平日 (火曜~金曜) 10:00~21:00
土曜・祝日 10:00~16:30
休館日 / 日曜・月曜 (※日曜・月曜が祝日の場合も休館)
お問い合わせ / 0240-23-7013

発電所構内の空間線量

(単位はマイクロシーベルト毎時)

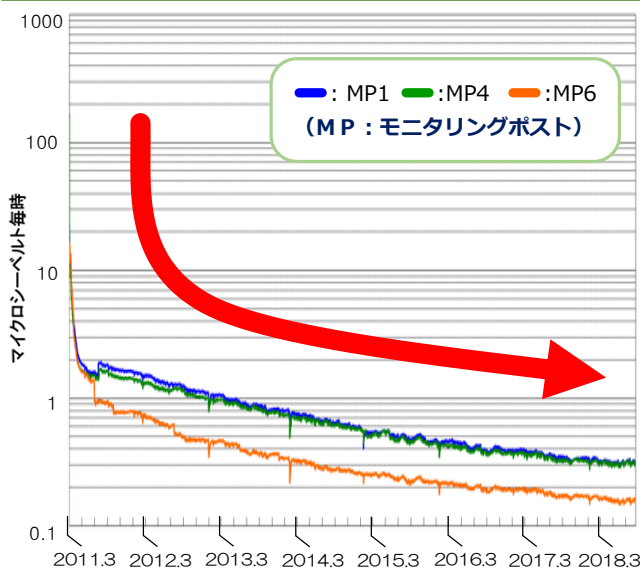
発電所構内のモニタリングポスト計測値 (MP1~7)

2018年9月27日 時点

0.09 [MP7] ~ 0.31 [MP1]

値は震災後、現在に至るまで低下傾向

震災から現在まで (2011年3月16日~2018年8月31日)



参考データ (単位はマイクロシーベルト毎時)

発電所周辺町村の空間線量

富岡町(稀薄困難区域含む)	0.07 ~ 2.10	楢葉町	0.04 ~ 0.25
広野町	0.06 ~ 0.18	川内村	0.05 ~ 0.32

原子力規制委員会 放射線モニタリング情報より (2018年9月27日 時点)

世界の主要都市の空間線量

ロサンゼルス (アメリカ)	0.10	ソウル (韓国)	0.12
上海 (中国)	0.59	ロッテルダム (オランダ)	0.33

出典：福島県放射能測定マップより

燃料の保管と冷却状況

- 燃料はすべて、1~4号機の使用済燃料プールで保管しています。プール水は約30℃で安定的に冷却し、常に監視しています。

2,534体	2,482体	2,544体	2,516体
1号機	2号機	3号機	4号機



はやま

「麓山の火祭り」が8年ぶりに行われました



登頂に向け社殿前に集まる担ぎ手たち

8月15日、約400年の歴史がある富岡町の伝統行事「麓山の火祭り※」が町内上手岡地区の麓山神社で行われ、当所所員5人もたいまつを担ぎ手として参加しました。

約50人が燃え盛るたいまつを肩に担ぎ、威勢のいい掛け声とともに、麓山の頂上を目指して参道を駆け上がりました。担ぎ手たちの勇ましい姿に、町内外から訪れた多くの皆さまより拍手が送られました。火祭りの後には盆踊りが開かれ、やぐらの周りに大きな輪が広がりました。

※ 五穀豊穡を祈る富岡町の伝統行事。福島県の重要無形民俗文化財にも指定されています。



地域のイベントに積極的に参加したい

復活した町の伝統行事に初めて担ぎ手として、参加させていただきました。たいまつは予想以上に重く、体に降りかかる火の粉が熱かったです。無事に切り切った時には達成感でいっぱいでした。今後も地域のイベントに積極的に参加したいと思います。



たかのり

担ぎ手として参加した当所所員 佐藤 啓憲（富岡町出身）



編集後記

昨年からはなで川で単身赴任をしていますが、先日、東京にいる家族（妻、子供3人）と一緒に、町内の「天神岬スポーツ公園」内にある「展望の宿 天神」に初めて宿泊してきました。

7才、4才、1才になる子供たちは、広々とした公園内を走り回ったり、遊具で遊んだりそれぞれ楽しんでいました。

太平洋を眺めながら温泉に入ったり、美味しいお食事もいただけて、家族で改めて福島の魅力を実感できました。【西】



当所所員だけではなく、他事業所の当社社員もお祭りに参加しました。また、準備や片付けなどのお手伝いもさせていただきました。

福島復興への責任を果たすために、福島第二原子力発電所は燃料の安定冷却を継続してまいります。



福島第二原子力発電所の
ホームページもご覧ください。

<http://www.tepco.co.jp/nu/f2-np/index-j.html>

編集発行責任者：

東京電力ホールディングス株式会社

福島第二原子力発電所 広報部 企画広報グループマネージャー

〒979-0695 福島県双葉郡楢葉町大字波倉字小浜作12

TEL 0240-25-1353（受付時間（平日）午前9時～午後5時）

fuku2kouhou@tepco.co.jp（受信専用）